【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	◆Ｄ-23-７-１
事業名	町方地区都市公園基本構想策定事業
事業費	16,252,950 円 （内訳：測量設計費 16,252,950 円）
事業期間	平成 24 年度～平成 25 年度

事業目的・事業地区

【事業目的】

町方地区の防災集団移転促進事業で高台へ移転した移転促進区域の跡地全体の利用方法を検討及び、一部を総合公園として有効活用するための基本計画を策定する。

また、防潮林機能（津波エネルギーの減衰及び漂流物の捕捉）を有するとともに、防災教育、被災者の鎮魂を目的とした「鎮魂の森」の基本計画を策定。

【事業地区】

町方地区

事業結果

町方安渡地区都市公園基本設計業務委託により、基本方針（案）、ゾーニング図（案）、として整理した。

事業の実績に関する評価

本事業は、復興事業によって整備される「鎮魂の森」や「郷土財活用湧水エリア」等の基本計画及びデザインについて、地区ごとのワーキンググループによって検討し、「公園づくりの考え方」をとりまとめることにより、基本設計の一貫した方針を決定することができた。

また、災害危険区域に指定された区域の土地利用方針の策定することにより、移転元地の活用率向上にも寄与していることから、本事業は有益な事業であると評価できる。

各種調査・分析・評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

町方地区都市公園基本方針策定ワークショップの結果を意見集によって整理し、「公園づくりの考え方」として冊子にまとめた。

基本設計全体コンセプトにおける基本理念及び基本方針は以下のとおりである。

【基本理念】

・おもわず散歩したくなるこだわりのある美しい町を実現するための魅力的な公園
・懐かしい記憶を呼び覚ましながら人と自然の豊かな関係を持続することができる公園
・町民の健康とまちの力を作りだすための創造的で生産的な活動の場を提供する公園
・震災の教訓を生かし復興の歩みを伝えながら防災文化を根付かせることができる公園

【基本方針】

・みんなで育てる

子どもも大人も、運動が好きな人も花が好きな人も。まちに住んでいる人も他のまちから遊びに来る人も。みんなで考えて公園をつくっていきます。でも、つ

くるまでが公園ではありません。みんなで楽しく使い、手入れをすることで、成長し、変化していきます。みんなで公園を育て、いつまでも大事にする公園にしましょう。

・人と人がつながる

私たちは人と人とのつながりがいかに大事かということを改めてかんじました。人と人とのつながりは生きがいにもなります。色んなことができれば、年代も立場も関係なくみんなが集まり、つながりが生まれます。つながりを大事にした、みんなが集まれる公園にしましょう。

・町のたからものを大事にする

町のたからものって…。たくさんあります。湧水やイトヨ、豊かな自然、町の歴史、私たちの思い出だってたからものです。まだ気付いていないたからものもあるかもしれません。そんなたくさんのたからものを分かち合い、活用できる公園にしましょう。

この基本理念及び基本方針が後に整備される「鎮魂の森」や「郷土財活用湧水エリア」の設計に反映されていることから、本事業は適切に活用されていると考える。

② コストに関する調査・分析・評価

大槌町財務規則等に基づき入札を執行し、業者を選定している。

また、ワークショップ時には震災当初から現地に入り各地域に精通している東京大学等の教授が学識アドバイザーとして参加したことで、効率の良い策定作業が行えたことから、本事業のコストは妥当であると評価できる。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	事業期間		備考
	計画	実績	
計画策定	H24.10 ～ H25.3	H24.10 ～ H25.7	事業スキーム変更に伴う延伸

大槌町東日本大震災津波復興計画に基づき、町内で被災した公園、運動場等の機能を集約した総合公園としての基本計画の策定と復興まちづくりによって災害危険区域に指定された区域の土地利用方針の策定を行うことを目的としており、本業務は、地域住民と協同して基本計画の策定を行うことができた。

なお、地域の声をより多く聞くため、ワークショップの開催日数を増やしたことにより、事業期間を延伸した。

以上のことから、本事業の事業手法、期間は妥当であると評価できる。

事業担当部局

大槌町地域整備課　電話番号：0193-42-8723

○公園づくりの考え方

○基本計画図